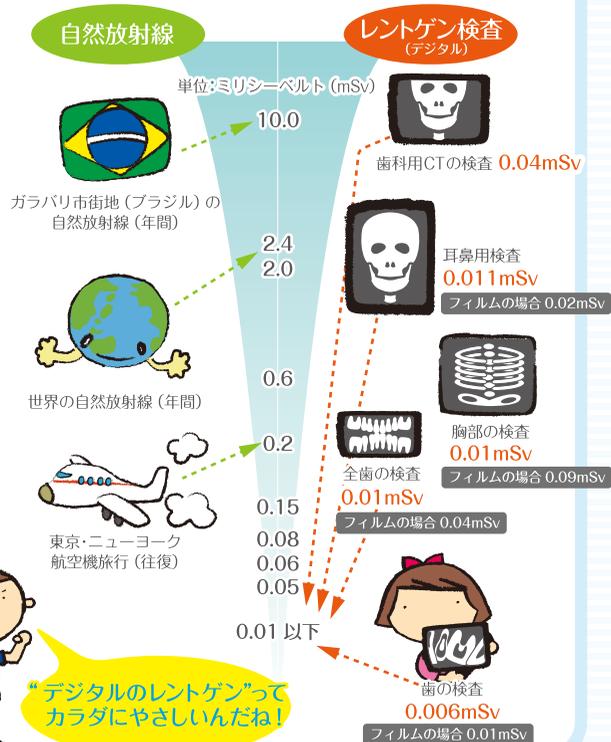


# 「自然放射線」と「レントゲン検査」の被ばく量の比較



参考データ:診断用X線の実効線量は(株)アールエフ・デジタルレントゲン機器を使って算出 ※成人の場合実効線量 (mSv) とは:全身の組織と臓器ごとにX線の影響を加味して計算した総線量

## Q、放射能と診断用X線は同じですか?

違います。放射能(放射性物質)は、体内に残留しますが、診断用X線は身体に全く残りません。

## Q、レントゲン撮影を連続して行っても身体に影響はありませんか?

診断用X線では、毎日、1~2回程度のレントゲン撮影をしても身体に影響を与えることはありません。

## Q、子供のレントゲン撮影は安全ですか?

レントゲン検査は、体に影響を及ぼさない線量の範囲の中で行なっています。お子様の体格に合わせて線量を調整してから撮影しますのでご安心ください。

## 医療被ばくについて

現在の医療においては、診療のために放射線の使用が不可欠です。これは病気の早期発見や治療にメリットがあるからです。「放射線」や「被ばく」に対し、怖いイメージをお持ちの方もいらっしゃると思いますが、医療で行なう放射線(X線)検査は、身体に影響が出ない範囲で行なわれています。

これで私も安心して検査を受けられるね!